

令和6年

3 / 15 (金)

13:30~17:00

京都工芸繊維大学15号館N105

13:30~13:40 開会挨拶
京都工芸繊維大学 繊維科学センター長 横山 敦士

13:40~14:10
「京都の地域企業と(地独)京都市産業技術研究所との共創」
(地独)京都市産業技術研究所 知恵産業融合センター長 永山 富男

14:10~14:40
「ものづくり支援のための感性計測技術」
(地独)京都市産業技術研究所 産業技術支援センター主席研究員 小田 明佳

14:40~15:10
「DX推進に関する支援事例の紹介」
(地独)京都市産業技術研究所 産業技術支援センター主席研究員 廣澤 寛

15:10~15:20 休憩

15:20~15:50
「生体吸収性脳動脈瘤治療用ステントの開発」
京都工芸繊維大学 繊維学系特任研究員 八木 伸一

15:50~16:20
「繊維製品の循環をめざして」
京都工芸繊維大学 名誉教授 木村 照夫

16:20~16:50
「令和5年度繊維科学センター活動状況報告」
京都工芸繊維大学 繊維学系教授 横山 敦士

16:50~17:00 閉会挨拶
(地独)京都市産業技術研究所理事 研究室長 山本 佳宏

お申込み・お問い合わせ

京都工芸繊維大学
繊維科学センター

075-724-7701

fiber@kitac.jp

申込み締切り：3月11日(月)

申込みURL：

<https://www.kit.ac.jp/entry/view/index.php?id=255139>

申込み
サイト



新
価
値
創
造
講
演
会

京
の
知
恵

ハイブリッド
開催

参加
無料

先着
100名

協賛

- (一社)繊維学会
- (一社)日本繊維機械学会
- (一社)日本繊維製品消費科学会
- (一社)日本繊維技術士センター
- 京都染色研究会
- 京染・精練染色研究会
- 西陣織物研究会

京都工芸繊維大学 繊維科学センター (地独)京都市産業技術研究所 共催

京都工芸繊維大学繊維科学センター・(地独)京都市産業技術研究所 共催

令和5年度「京の知恵」新価値創造講演会

京都工芸繊維大学繊維科学センターと(地独)京都市産業技術研究所とは、「研究等連携に関する覚書(平成22年9月3日締結・平成27年4月1日再締結)」第2条に基づく技術交流及び研究交流により、毎年研究発表会を開催してまいりました。

令和3年度から、今までの企画内容を一新し、京都が持つ「知」と「技」を活用して、京都工芸繊維大学繊維科学センター及び(地独)京都市産業技術研究所が、地域社会や地場企業と連携することにより、持続可能な繊維科学の発展に貢献するための新たな価値創造に関わる内容として、より身近に、より多くの皆様方に参加していただけるような講演会として企画いたしました。

下記のとおり、会場とオンラインのハイブリッド開催にて実施いたしますので、多数の皆様方のご参加をお待ちしております。(※状況によっては完全オンライン開催に変更する場合がございます。)

<日時> 令和6年3月15日(金) 13:30~17:00

<講演方法> 発表25分・質疑5分 計30分

会場: 京都工芸繊維大学 15号館N105室 (京都市左京区松ヶ崎橋上町1)

オンライン: Cisco Webex Meetings を使用

<定員> 100名

<参加費> 無料

<協賛> (一社)繊維学会、(一社)日本繊維機械学会、(一社)日本繊維製品消費科学会、(一社)日本繊維技術士センター、京都染色研究会、京染・精練染色研究会、西陣織物研究会

<プログラム>

13:30~13:40 開会挨拶 京都工芸繊維大学 繊維科学センター長 横山 敦士

《座長》(地独)京都市産業技術研究所 研究フェロー 杉浦 和明

13:40~14:10

【テーマ】「京都の地域企業と京都市産業技術研究所との共創」

【発表者】(地独)京都市産業技術研究所 知恵産業融合センター長 永山 富男

【概要】京都地域には、現代に受け継いできた文化や知恵、技術を学び、新たな価値の創造に挑戦している多くの地域企業があります。京都市産業技術研究所では、それら企業と共に、お互いの技術を活かし合い、これまでにない技術の開発や製品化を目指す、共創のプロジェクトを行っています。そのような取組によって、「伝統産業と先進技術の融合」や「新たな気づき」といった知恵の創出により、製品化・事業化が実現した事例について紹介します。

14:10~14:40

【テーマ】「ものづくり支援のための感性計測技術」

【発表者】(地独)京都市産業技術研究所 産業技術支援センター 主席研究員 小田 明佳

【概要】人の肌に触れる製品では「なめらか」など感性的な特徴を捉え、いかに客観的に表現するかが重要です。しかしながら、ブラシやピロードといった繊維集合体は一般的な試験機での計測に課題があります。そこで、繊維集合体のための計測技術を研究しています。今回は、感性計測技術の代表格であるKESや弊所での研究開発など、感性と客観計測について紹介します。

14:40~15:10

【テーマ】「DX推進に関する支援事例の紹介」

【発表者】(地独)京都市産業技術研究所 産業技術支援センター 主席研究員 廣澤 寛

【概要】現在、多くの企業においてDXの取り組みが進められており、中でも中小製造業の現場におけるDXの推進は、「生産性の向上」と「情報の可視化」が大きな目的となっています。そこで、京都市産技研では企業のDXの推進支援を第3期中期目標に定め、取り組みを進めています。本発表では、その支援事例について紹介します。

15：10～15：20 休憩

《座長》京都工芸繊維大学 繊維科学センター長 横山 敦士

15：20～15：50

【テーマ】「生体吸収性脳動脈瘤治療用ステントの開発」

【発表者】京都工芸繊維大学 繊維学系 特任研究員 八木 伸一

【概要】講演内容要約：血流改変ステント、フローダイバータは脳卒中の1つであるくも膜下出血の原因となる脳動脈瘤への治療として近年認可された血管内への埋め込み型医療機器である。しかし、同部位の再治療に際して永久インプラントが治療法を大きく制限するなどの課題を有している。この問題の解決には、「動脈瘤治療後に血管内より消失する」という生体吸収性埋込み型医療機器が理想的である。生体吸収性ステントの新たな可能性について紹介する。

15：50～16：20

【テーマ】「繊維製品の循環をめざして」

【発表者】京都工芸繊維大学 名誉教授 木村 照夫（繊維科学センター）

【概要】持続可能社会構築への関心が高まる中、繊維関連分野でも繊維廃材を出さない取り組みが活発化している。繊維製品の循環の観点からは繊維 to 繊維が理想でありポリエステルや綿100%の単一素材に対しては循環システムがかなり進んでいるが、複数の素材が混在する素材に対しては多くの課題が残っている。本講演会では繊維 to 繊維の現状や、非繊維系への応用など、現状の新たな出口戦略について概説する。

16：20～16：50

【テーマ】「令和5年度繊維科学センター活動状況報告」

【発表者】京都工芸繊維大学 繊維学系 教授 横山 敦士（繊維科学センター長）

【概要】本年度、繊維科学センターは、前年度に作成した新しい時代に即したセンター活動をさらに前進するべく、本学の特色を打ち出す試みに行いました。本年度の活動概要および次年度以降の活動方針について概要を紹介します。

16：50～17：00 閉会挨拶（地独）京都市産業技術研究所理事 研究室長 山本 佳宏

<参加のお申込み（インターネットによる事前申し込み制）>

下記参加申込みアドレスより必要事項をご入力の上お申し込み下さい。

参加申込アドレス：<https://www.kit.ac.jp/entry/view/index.php?id=255139>

（繊維科学センターホームページ [<http://www.cfts.kit.ac.jp/>] からのご案内しています。）

申込締切日：令和6年3月11日（月）（ただし、定員になり次第、締め切らせていただきます。）

<本件お問い合わせ先>

京都工芸繊維大学 繊維科学センター

住所：〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町1

電話番号：075-724-7701 FAX 番号：075-724-7705

e-mail アドレス：fiber@kit.ac.jp